金沢版地域包括ケアシステム推進協議会（第４回）	資料４
平成 25 年 12 月 18 日	

金沢市地域包括ケアシステム推進基本構想（仮称）
骨子（案）

総　論

○　急速な高齢化が見込まれる中、金沢の地域性を踏まえた地域包括ケアシステムを早期に構築し、在宅ケアの限界点を引き上げることが喫緊の課題である。

○　連綿と受け継がれた金沢の地域コミュニティの土壌をベースに、医療機関や介護施設等の豊かな社会資源を活かしながら、高齢者支援のネットワークを構築する。

○　在宅医療・介護や地域の活動などの個々の取組みを繋ぎ合わせ、システムの中での役割・位置づけを明確にする。

○　システムを支える行政機構の在り方について、地域包括支援センターの体制強化も含め検討する。

○　「基本構想」については、その進捗管理を行うとともに、制度改正や状況の変化等を踏まえ、適切な時期に見直しを行うものとする。

重層的な地域包括ケアシステムの構築（検討中）

・市内全域、福祉健康センター圏域、日常生活圏域（中学校区）、小学校区（地区民生児童委員協議会）等の各圏域における生活支援ネットワークの構築
・地域活動の把握や好事例の共有による地域づくり活動の支援
・地域ケア会議等の役割の整理と地域課題解決機能の強化

高齢者向けの住まいの確保

・入居者に対する医療・介護の提供を含めた高齢者向け住宅の適正運営の確保
・地域に開かれた高齢者向け住宅の運営の推進
・空き家等、既存ストックの活用による低所得者向け住居の確保

介護サービス・在宅医療の提供体制

〇介護サービスの提供体制
・在宅ケアの限界点を引き上げるため、定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の新たな居宅サービスの供給を拡大
・ケアマネジャーのスキル向上に向けたケアプランチェックの量的・質的拡充

〇在宅医療の提供体制
・在宅医療に関する理解が深まるための環境づくり
・在宅医療の担い手確保に向けたかかりつけ医の負担軽減
・医療的ニーズのある在宅療養高齢者の状態急変時等の受け入れ体制の整備

〇在宅医療・介護連携推進
・在宅医療連携拠点を中心とした多職種連携の推進
・多職種連携研修ガイドラインを活用した介護保険事業所における教育機会の確保
・多職種により高齢者を支える社会資源等の情報を把握・共有するための仕組みづくり
・施設も含めた各介護保険サービスが地域包括ケアシステムにおいて果たすべき役割の明示及び周知

地域における高齢者の生活支援・介護予防

〇生活支援

・「まちぐるみ福祉活動」の担い手確保や見守り対象者の増加への対応
・「地域支え合いネットワーク」の構築を含めた連携体制の構築
・地域の自主活動やコミュニティビジネス等による地域課題への対応
・団塊の世代が地域社会に参画するきっかけ作りとなる施策の推進
・地域における生活支援や健康づくりの担い手が協働するスキームの構築

〇介護予防

・地域主体の健康づくり事業の充実と全市的な展開
・心身機能のみならず社会参加を意識した予防事業の展開
・歯科診療所と連携した口腔ケアによる疾患予防
・地域における生活支援や健康づくりの担い手が協働するスキームの構築（再掲）
・スポーツ振興施策とのタイアップによる高齢者の健康づくりに向けた市民運動の展開

認知症を支える体制

・標準的な認知症ケアパスの早期作成と普及推進
・認知症を早期に発見し、早期の受療に結び付けていくための取組（「気づき力」と「対応力」の強化）
・認知症の人とその家族に対する支援の強化
・認知症を正しく理解するための教育・啓発の推進
・若年性認知症の方の状況に合わせたサービスや制度の情報周知
・市民後見人の養成と活動支援スキームの構築

市民目線に立った周知・啓発　（検討中）

・医療や介護が必要になる前の幅広い情報の提供
・地域の社会参加活動に係る周知・啓発